

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表:令和7年1月23日

事業所: PARKすくすく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			スペースとしては十分であるが、活動によっては不足を感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			対応できている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的な連絡会を開催して共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎回、アンケート調査の意向を確認しながら改善できる箇所は対応している。
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法人内で順次行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修は随時必要に応じて開催し、業務改善に活かせるよう対応している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的な連絡会で、職員全体での意見を反映しながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールの認識について会議等で共有していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			シフトによっては、チーム全体による立案に参加できないこともある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			特性や時期によって変更が難しい場合もあるが、全員で共有していきたいと考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日々、特性や個人のニーズに応じて、課題や活動を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別とグループ活動については日々のスケジュールにて対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼(昼礼)で確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			シフトや公休により、全員参加が難しい場合は、電子記録システムにて確認、共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			電子記録システムの記入内容については、職員間で記録をして確認している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じてモニタリングを行い、サービス等支援相談に繋げている。
関係機関 や保護者 との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			定期的にガイドラインの読み合わせを実施している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者、もしくは担当職員で対応している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との連絡は送迎時や保護者の連絡等で実施している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当者無し。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要性や依頼に応じて対応している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、情報提供をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			長崎大学と連携し、定期的な研修、助言を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			事業所自体が学童と共存しているため、日々の活動の中で交流している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に伝えており、共通理解については、折にふれて対応している。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			児童発達支援管理責任者、所長が実施しているが、ペアレントメンターを招いての開催はしていない。今後計画していきたい。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		保護者会を実施し、その中で報告している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談を受けた際は、寄り添いながら対応して出来る限り対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の際は、クッキング等一緒に出来る事を交えて開催し、楽しく交流されている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は、マニュアルに沿った対応を迅速に行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		電子記録システムの公開をしている。会報発行が3～4か月に1回のため、毎月ミニ会報のようなお知らせが必要と考えている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		細心の注意を払っている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		出来る限りの配慮を心掛けている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年もマルシェを開催した。地域交流が年々、広がりつつある。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員への周知はできている。保護者会に参加された保護者には説明ができているが、不参加の保護者にはその時点での報告ができていない。契約時には説明をしている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		マニュアルを策定し、定期で防火・防災訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内、事業所内での研修を定期的に行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別で対応し、内容については確認しながら了解を得た上で計画に記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの連絡や申し出があれば、その都度対応している。現在は該当者がいない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々の朝礼、ヒヤリハットアプリで記録、共有している。